

様々な企画連載中!!

錦城高校新聞には5年以上続いているものから昨年できたばかりの新しいものまで、いくつもの連載企画があります。ここではその中の一部を紹介します。「おもしろそう」と思った企画があったら、次号からの錦城新聞で探してみてくださいね。過去の紙面は錦城高校のホームページからも読むことができます。(加)



こだいらブランド

錦城の地元である小平市の「コダイラブランド」に登録されている商品を紹介する人気企画です。商品を販売しているお店を訪れて取材し、お店の成り立ちや商品誕生秘話も聞いていきます。

ペットの部屋

錦城生が飼っている面白いペット、珍しいペットを取り上げていきます。「うちのペットはこんなところが個性的」という名物ペット、名物飼い主さん集まれ!紹介してくれる人は編集委員に声をかけてください。



進路特集

高校卒業後の進路をどうするのか、考えていく企画。主に学校で行われる進路講演会や学部説明会の内容を紹介するとともに、参加した生徒の声を聞いていきます。

錦城文芸

文化面の部活や校外で活躍している錦城生を取材し、そこにかける思いを語ってもらった企画です。いつでも大募集中なので、取材させてもらえる人は近くの編集委員に声をかけてください。

錦城文芸



「さん・くん」問題

錦城高校新聞では男女の敬称を女子に「さん」男子に「くん」で使い分けていますが、現在「さん」に統一している一般紙がほとんどです。今後の錦城新聞で敬称をどうするか連載企画を通して考えを深めていきます。

錦城の新聞づくり4STEP

④印刷・配布

印刷を業者に任せず、自分たちの手でやっていることも特徴の1つ。印刷室で全校生徒と教職員合わせて約1600人分の新聞を印刷し、クラスの人数ごとに分けて編集委員が各クラスに届けます。届けられた新聞は一般委員が配布し、生徒の手に渡ります。

③編集

取材担当はメモをもとに記事を書き、カメラ担当は撮った写真の選別を行います。完成した記事と写真は文書作成ソフトで作ったテンプレート上にレイアウトします。編集担当が記事の字数や写真の大きさを調整し、編集委員全員で見出しを考え、校正・校閲作業も行います。

また東京都高等学校新聞コンクールでは11年連続で最優秀賞を受賞し、東京都代表として全国大会に出場しています。昨年の全国大会では優秀賞(ベスト12相当)に選出されました。今年も佐賀県で行われる大会に参加する予定です。

記者になった人にもいます。取材を通して、学校内外の様々な人と交流することができ、これが新聞作りの大きな魅力。新聞委員会で、普通の高校生生活だけでは体験できないような貴重な経験がたくさんあります。これを読んでいるあなた、新聞委員会編集部に来てみませんか?



①企画

編集会議を開き、新聞で取り上げる内容やレイアウト(記事・写真の配置)、取材担当者、発行日などを決めます。紙面を作るうえで非常に重要な作業となります。各号の責任者2人を中心に編集会議を進めていきます。責任者は各号の進行状況の確認をするなど大事な役割です。

②取材

記事の内容が決まると、取材相手に連絡を取り、記事担当、カメラ担当の2人1組で取材を行います。事前に記事の方向性や質問事項を考えておくことも必要ですが、話の流れによって臨機応変に質問を考えることも大切。また、メモの速さや写真を撮る技術も問われます。

新聞制作の裏側をご紹介します

錦城高校新聞は新聞委員会編集部が約月2回発行している校内新聞です。今回はそんな錦城高校新聞制作の裏側をご紹介します!

上田初美さん(42回生、247号に掲載)

上田さんは小学6年生にして棋士としての資格を獲得し、現在も女流棋士として活躍しています。女流棋士が少ない中、将棋を指すことへの壁を感じたことはあっても、小さい頃から続けられているのは「将棋が好き」という強い思いからだそうです。自ら選択し道を切り開いてきた上田さん。高校生の進路選択について「後から悔やんでも言い訳ができないので、選択は自分ですべき」と自身の経験をもとにアドバイスしてくれました。(泰)

池田一葉さん(35回生、266号に掲載)

池田さんは、錦城が共学になった最初の代の卒業生。高校1年生の頃にダンスを始め「シルク・ドゥ・ソレイユ」というサーカス団の一員として、世界を股にかけて活動しています。30周年記念興業である「キュリオス」で主要キャラクターの1人を演じましたが「シルク・ドゥ・ソレイユ」入団までには8回ものオーディションへの挑戦があったそうです。「あえて色々なことに、本当に何でも挑戦してほしい」と錦城生にメッセージを送ってくれました。(巴)

大活躍の錦城卒業生にも取材

錦城高校新聞では、現在様々な分野で活躍している錦城の卒業生を特集する企画「錦城卒業生」を連載してきました。今回は、過去に取り上げた卒業生の中から4人を厳選して紹介します。

田中健一郎さん(4回生、261号に掲載)

帝国ホテルの総料理長である田中さん。高校卒業後すぐ帝国ホテルに入社した後待ち構えていたのは、過酷なプロの現場だったといいます。任される仕事全てに速さが求められ、総料理長になった今、大切にしていることは「謙虚」であること。料理の仕込みや、毎朝部下への声掛けにも力を入れているそうです。全ては帝国ホテルの看板を背負っているという覚悟から。「人生は一瞬一瞬の積み重ね。日々の生活を一生懸命送ってほしい」と語ってくれました。(和)

伴和暁さん(41回生、283号に掲載)

現在FC東京に通訳として所属する伴さんは、プロサッカー選手としてカンボジアなどのチームで活躍していました。大学時代に一度はサッカーから離れることを決意。一般企業へのインターンシップにも行いましたが、ワールドカップに仲間が出場しているのを見てサッカーを再開したそうです。「錦城生にしてはやんちゃだった」と話す伴さんの在学時代のエピソードや進路を決めるまでの葛藤から、現在の通訳としての仕事まで様々な話を聞くことができました。(加)

校外取材にも積極的に取り組んでいます

科学博物館からの招待で特設展に参加

国立科学博物館にて期間限定で行われている「大哺乳類展2～みんなの生き残り作戦～」。2017年3月に取材をさせていただいたご縁で招待券を頂いたので、編集部員2人と生物部1人が行ってきました!春休みということもあり博物館の中は多くの子供連れで賑わいをみせていました。この展示は9年前にも行っており、好評であったため第2弾として復活したそうです。



剥製に触る生物部員の関口くん

展示場は5つのエリアに分かれ哺乳類の生態を骨や歯などの模型を通して学ぶことができます。中でも約200種類にもなる動物の剥製が並ぶ「哺乳類大行進」はとても迫力があり、来場者はみな釘付けに。また中には、肉食動物と草食動物の走り方の違いを動画で学べたり、実際の動物たちの毛皮に触って体験するコーナーがあったりと工夫を凝らした展示もありました。同伴した生物部の関口智大くん(2K)は「哺乳類の魅力をより深く知ることができ、いい刺激になりました」と話してくれました。(李)

大会報告

4月15～4.23

- 4月17日(火) 錦城祭実行委員会
- 4月19日(金) 錦城祭実行委員会
- 4月22日(月) 保健委員会
- 4月23日(火) 球技大会実行委員会

▽第72回江戸川区総合大会 春季区民大会 第15回江戸川春季ハンドボールオープン大会 優勝

▽第7回日本ダンス大会 予選通過

4月15～4.23

ハンドボール部

活動日 月、火、水、金、土、日 (週6日、木OFF)

活動場所 月、火→テニスコート 水～日→ハンドコート

部員 男子 12人 女子 16人 計28人

初心者大歓迎

マネさんも募集

気軽に体験しに来て下さい!

バク転

卒業までに

活動日 月、火、水、金、土、日 (週6日、木OFF)

活動場所 月、火→テニスコート 水～日→ハンドコート

部員 男子 12人 女子 16人 計28人

初心者大歓迎

マネさんも募集

気軽に体験しに来て下さい!

空手道部

活動日 月、火、水、金、土、日 (週6日、木OFF)

活動場所 月、火→テニスコート 水～日→ハンドコート

部員 男子 12人 女子 16人 計28人

初心者大歓迎

マネさんも募集

気軽に体験しに来て下さい!

野球部

活動日 月、水、木、金、土、日

活動場所 グラウンド

部員 男子 12人 女子 16人 計28人

初心者大歓迎

マネさんも募集

気軽に体験しに来て下さい!

女子ソフトボール

活動日 月、火、水、金、土、日 (練習試合休)

活動場所 グラウンド

部員 3年6人、2年15人

活動日時 月、火、水、金、土、日 (練習試合休)

活動場所 グラウンド

経験者・初心者誰でも大歓迎です!

マネージャーも募集中!

ギター同好会

場所:新校舎6階

活動日:月～土

活動場所 グラウンド

経験者・初心者誰でも大歓迎です!

マネージャーも募集中!